



大光寺だより  
かがやき

発行  
大光寺 大光寺  
山 藤範雅史  
静 住職  
寂 職

# 大

光寺には常香盤(じょうこうばん)という

仏具があります。本堂の中央、阿弥陀如来さまの目の前にある六角形のものがそれです。常香盤とは読んで字の如く、常にお香を薫じておく盤のことです。大光寺では5月の親鸞聖人降誕会が終わってから、10月の親鸞聖人報恩講の前まで、夏の間

本堂に置かれます。

この常香盤という仏具は、どこのお寺にでもあるわけではなく、多くのお寺は前卓(まえじょく)という香炉・蠟燭立・花瓶がのる卓が置かれています。

常香盤は、中に香炉が入っており、この中に抹香という粉末状のお香を綺麗に並べ、端から炭火

で火を入れます。そうすることによって少しづつお香が焚かれ、写真のような状態でお香を薫じると、何と8時間くらい燃焼し続けます。朝、お香を焚くと夕方までずっと本堂にお香の香りが薫じられます。



いますが、少しづつ修復を重ねながら大切に使用させていただいていきます。

# さて、

この寺報の11ペー

ジにあるように、令和5年には「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年」を迎え、京都の西本願寺では大々的に御法要がお勤まりになります。この法要は親鸞聖人の850回目のお誕生日のお祝いの法要であり、親鸞聖人が生涯をかけて著された、念仏往生の真実が開頭された書物『顕浄土真実教行証文類』(けんじょうどしんじつつきょうぎょうしようもんるい)が完成し、浄土真宗の成立となしてから80年の節目の年となりま

と書かれた文字が出てきました。尼講(あまこう)とは今の仏教婦人会の前身にあたります。この常香盤は今から約100年前、尼講の皆様の尊い願いによって寄進されたものであることがわかります。さすがに100年も使っていますと所々にガタが来て

す。大光寺におきましても、この「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年」慶讃法要を賑々しく勤めたいと思っています。100年前の尼講の皆様をはじめ、多くのご門徒の方々が、どのような思いでこの法要をお勤めになられたのか、先人の願いを後に残った私たちがしっかりと受け止めてお勤めしたいと思しますので、多くのご門徒の皆様のご参拝をお待ちしています。



# 教壇に就職!

だまき

近年増えてきた相談事に、「仏壇じまい」があります。核家族化が進み、両親がお亡くなりになられた後、実家に戻るのではなく新しい住まいに居住し、そこにお仏壇を置こうとするのですが、昔のお仏壇は大きすぎるので小さい仏壇に買い換えようとされる方が多くなってきました。そこでご相談に訪れる方が増えてきましたので参考にしていただければと思います。

まず、これまで先人が大切にしてきたお仏壇についてですが、可能な限りそのまま引き継ぐことをお勧めしています。しかしながら、どうしても無理な場合は大きなお仏壇を引き払って、現在の住まいに合うお仏壇にすることもやむを得ないこともありますので、その際の注意点を書かせていた

す。

1 つめは、引き払うお仏壇を最後に綺麗に掃除することです。処分するのだから何もしないというのは、これまでに大切にお仏壇を守ってきた先人に大変失礼なこ

とではないでしょうか。隅々まで綺麗にし、最後にこれまでの感謝の気持ちを込めてお勤めをさせていただきましょう。

これまでご先祖が大切にしてきたお仏壇が大きいので小さいお仏壇に買い換えようと思います。何か気を付けなければいけないことはありますか？

不要なものを選別させていただきます。

御本尊は本願寺からお迎えしましたよ

2 つめは、古いお仏壇から先人が大切に大切にされてきたものは必ず引き継いで持って

いくことです。古いから、汚れているからといって処分してしまってもいいけません。ところが多くの方は何が大切でそれが不要なものかがわからない事が多いようです。その時は遠慮なく住職に声をかけてください。直接お伺いして大切なもの、

洋室に合うものや箆笥の上に置けるもの、少し変わったところでは扉を閉じてしまえばドレッサーのような見た目になるお仏壇もあるようです。しかしながら西本願寺の伝統的なお仏壇は金仏壇です。部屋に合わない見た目がどうのこうのではなく、金仏壇が伝統的であるいわれがあるのです。

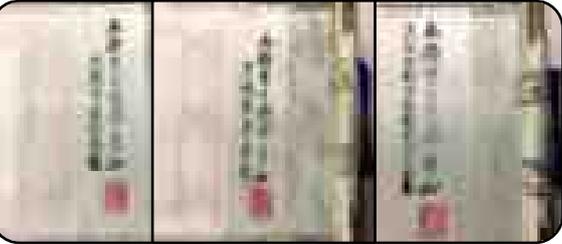
と予めセットでついでくる掛け軸は、町版(まちはん)と言い、ほとんどが印刷物で品質も悪く、すぐに反り返ってしまい、また、仏さまのお姿も表情も微妙に異なります。せっかくお仏壇を安置しても中身が印刷物では何にもなりません。西本願寺からお迎えする御本尊等の掛け軸は全て絹本に本願寺が指定した絵師が1枚1枚丁寧に描いています。これはお仏壇を迎える中でも一番大切なことですので、すでに家庭にお仏壇のある方も一度家庭のお仏壇にある掛け軸をご覧いただき、もし町版がかかっているようであればこれを機に本願寺からお迎えされてはいかがでしょうか？

西本願寺からお迎えされたことがわかる見分け方をご紹介しますので、ご参考になさってください。

# 御本尊とは

**本尊**とはお仏壇に奉  
獻するお掛軸で、

阿弥陀如来のおはたらきをそのお姿をもってあらわした「形像本尊（ご絵像）」と、名号（南無阿弥陀仏）をもってあらわした「名号本尊（六字名号）」があります。これに対して、本尊の左右に奉獻するお軸に、親鸞聖人・蓮如上人のお姿が描かれた絵像と、南無不可思議光如来・帰命尽十方



無礙光如来の字が書かれた「九字・十字尊号」があり、これを脇掛け（わきがけ）と言います。本願寺第八代蓮如上人は、礼拝の対象であるご本尊を数多くの門信徒に授与されています。以降も各歴代のご門主さまからご本尊が授与されてきました。ご本尊を安置するお仏壇はみ教えに生きる私たちにとって、「このころのよりどころ」であり、先祖代々受け継がれてきた大切な場所であり、これから受け継いでいく大切な場所です。

## 本願寺

の絵姿が描かれています。本願寺から迎えたかどうかの見分け方は、御本尊であれば、お軸の裏側に「方便法身尊形」と「本願寺々務釋○○」と書かれています。○○にはこのご本尊をお迎えした時の本願寺の御門主様のお名前が書かれています。（写真は今のご門主、専如上人様のものです）。お脇掛けにも同じように親鸞聖人のお軸の裏には「大谷本願寺親鸞聖人真影」蓮如上人のお軸の裏には「本願寺蓮如画像」の文字と、ご本尊の裏書と同じようにお迎えされた当時の御門主様のお名前と



ただいと思いたいです。お迎えの時、お印鑑を押さなければいけません。裏書を見るのではなく、正面にある赤い印鑑を見て

- お仏壇を引き払うときは、綺麗に掃除をしてから最後のお勤めをしましょう。なるべく家族全員が揃うことが望ましいです。
- 先人が大切にしてきた経典や聖典は引き継いで持っていきましょう。何が大切で何が不要かわからない時は住職にご相談ください。
- お仏壇に迎えるお掛け軸『御本尊・御脇掛け』は西本願寺からお迎えしましょう。お仏壇購入時にセットでついてくる掛け軸はふさわしくありません。
- すでにご家庭にお仏壇のある方もお掛け軸の確認を試みましょう。

御印が押されています。名号本尊とその脇掛けについては、裏書を見るのではなく、正面にある赤い印鑑を見て  
ご本尊が木仏の場合は特に何もする必要はありません。これまで同様大切に手を合わせさせていただきます。

おてらおやつクラブの活動に賛同ください

日本国内において子どもの7人に1人が貧困状態にあります。(厚生労働省 2019年国民生活基礎調査より)

「おてらおやつクラブ」は、お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。

活動趣旨に賛同する全国のお寺と、子どもやひとり親家庭などを支援する各地域の団体をつなげ、お菓子や果物、食品や日用品をお届けしています。全国のお寺と支援団体、そして檀信徒および地域住民が協力し、慈悲の実践活動を通じて貧困問題の解決を目指し、地域での見守りを作っていきます。

お寺には沢山の食べ物があり、仏さまやご先祖さまへの「おそなえ」としてあります。お寺で修行生活するものは、お預かりした仏さまへのお布施やお供物を「おさがり」としていただきます。こうして「お仏飯」で育てていただける身でありながら、時にはいただき過ぎたお供え物を無駄にしな

ため、頭を悩ませることもあります。平成25年5月24日大阪のマンションの一室で母子が餓死状態で発見される事件が起こりました。この豊かな日本で餓死なんて・・・胸を痛めました。一日一食の食事に困る子どもたちが増えている、「子どもの貧困」が深刻です。

浮かびました。「おてらおやつクラブ」は仏さまへの「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」する活動です。趣旨に賛同する全国さまざまなお寺さまは現在47都道府県に500カ寺ほどあります。母子家庭や生活困窮者を支援する全国500ほどの団体さま(NPO団体や社会福祉協議会、子ども食堂や行政窓口など)と連携し、必要な方々へ「おすそわけ」していきます。平成29年8月には、特定非営利活動法人おてらおやつクラブとして法人化しました。

「おてらおやつクラブ」はお寺が直接、母子家庭や生活困窮者への支援を行っているわけではありません。すでに支援活動を行っている専門の団体と連携し、団体を通じて「おすそわけ」をお届けしています。貧困問題の現場で、その課題の解決には専門知識が必要です。



おてらおやつクラブ

お寺はあくまで、支援団体の後方支援を担うのがその役割です。

「おてらおやつクラブ」に参加するお寺の多くが、身近に貧困問題を考えるきっかけになった、これなら自分たちでもできると思ったと手応えを感じています。仏教は苦しみを説くもの、人々が感じている苦しみを知らなければなりません。苦しみを知り、苦しみから逃れるための教えを実践する。「おてらおやつクラブ」は、まさにお釈迦さまが説く慈悲の実践活動の現場です。

「おてらおやつクラブ」にとって、いちばん大切なものは何か？改めて実感していることがあります。

す。今も昔も変わることなく、お寺が担ってきた役割です。人々が仏さまへの「おそなえ」をこれからもしてくれる場所であり続けるよう、お寺という場所を守っていくということ。昔からお寺という場所で行われてきた仏の慈悲の実践活動、仏さまへの信仰の心を相続していくことが、「おてらおやつクラブ」にとって大切なものであり、それが貧困問題解決のための一助となると信じています。

特定非営利活動法人おてらおやつクラブ 代表理事 松島靖朗 「おてらおやつクラブ」HPより一部抜粋

お寺ではこの会の活動に賛同し、皆様からお供えいただいたお菓子など、食べきれない分は、県内の社会福祉団体に「おすそわけ」していただきます。お寺の活動はお寺の御門徒一人一人の活動です。この活動にご賛同いただければ幸いです。

今回も私の友人である、北海道の名和先生から仏さま



## 「不請の友」(ふしよものとも)

のお話を寄稿いただきました。

北海道三笠市

善行寺 名和康成

今

年も早いものでのこりわずかとなりました。この原稿を書いているのは十月中旬ですが、北海道は来週は平地でも雪が降る日があるかもしれませんとのこと。大光寺様・教楽寺様ご門徒の皆様はいかがおすごしでしょうか。

阿弥陀如来という仏さまのお心をあらわす言葉に、「不請の友」(ふしよものとも)というものがあります。阿弥陀さまは、私の人生の悲しみ苦しみをつねに心配してください

り、私が請い求めずとも、まるで友のように寄り添い、苦悩を背負ってください。こちらからお願いせずとも、私の心を察し、案じてくださる方がいらっしやるのは誠にありがたいことです。

「

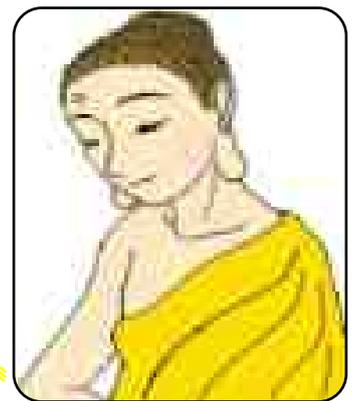
門徒の方で、娘さんを白血病で亡く

されたお母様がいらっしやいました。亡くなった当時、娘さんはまだ四十代。回復することをのぞみ、骨髄移植を判断しました。生存確率は六割といわれ

るその治療は、拒絶反応をどれだけ抑えられるかが重要になってくるのだそうです。手術を受けたものの、術後の経過は厳しく、嘔吐と下痢をひたすら繰り返しました。娘さんは「お母さん、おしりが痛い痛い」と涙ながらに訴えていたそうです。「もうすこし頑張ればなんとかなるよ」との家族の励ましもむなし、娘さんは亡くなっていきま

した。それからしばらくたつた頃、お寺の法要にそのお母様が来てくださったことがありました。するとお参りにきていた他の女性がその方にかけてより「大変だったね」と肩を抱き涙を流されたのです。実はその方も過去に若い息子さんを事故で亡くさ

した。それからしばらくたつた頃、お寺の法要にそのお母様が来てくださったことがありました。するとお参りにきていた他の女性がその方にかけてより「大変だったね」と肩を抱き涙を流されたのです。実はその方も過去に若い息子さんを事故で亡くさ

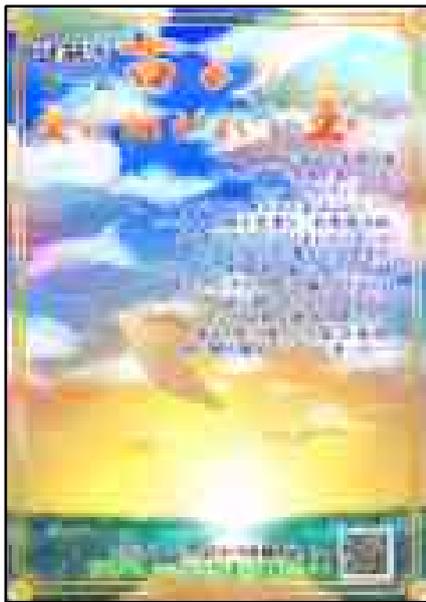


れていました。わが子を失うというつらさを痛いほどよくわかっているがゆえ、そのお母様のお姿を見たとき、いてもたってもいられなくなったのだと思います。

あわせになりたいと願わない人は一人もいません。しかしその思いとはうらはらに、人生は全てが順風満帆というわけにはいかないのです。周りの人が笑顔の時に、心から笑うことができない時だってあるのです。しかし阿弥陀さまはこの私の心の奥底まで

ご覧になり、どのような悲しみも見逃しませんと、私の人生をとくに歩んでくださる仏さままであります。

悲しみの事実は消えてなくなるわけではありません。しかし、そんな私にそっと寄り添ってくださいる方が一人でもいらっしやったならば、私は生きていけるのではないだろうか。・身寄せ合い、「つらかったね」と声をかけ合いながら涙する二人のお姿に、苦難を分かちあい、ともに歩もうとしてくださる方がいることのありがたさを思わずにおれませんでした。そして「不請の友」である如来さまのお心とともに生きるこの意味を、改めて教えていただくご縁となったのです。



**西** 本願寺からスマートフォンを使用して楽しむオンライン伝道教材「謎解きゲームカード」が出ました。  
QRコードを記載してありますので、スマートフォンで読み取っていただくと、「LINE」アプリで謎解きゲームに参加することができます。  
謎解きゲームの中では、わかりやすい言葉と動画を使用しており、楽しくお寺や仏教に触れていただける内容となっております。  
是非お楽しみください。

浄土真宗の生活信条

一、み仏の 誓いを信じ  
尊いみ名をとなえつつ  
強く明るく生き抜きます

一、み仏の 光りをあおぎ  
常になが身をかえりみて  
感謝のうちに励みます

一、み仏の 教えにしたがい  
正しい道を聞きわけて  
まことのみのりをひろめます

一、み仏の 恵みを喜び  
互いによやまい助けあい  
社会のために尽します

私たちのちかい

一、自分の殻(から)に閉じこもることなく  
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑(ほほえ)み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲(じひ)に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき  
日々に精一杯(せいいつぱい)つとめます  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

(門主様は、御親教(ご法話)の中で

「阿弥陀如来に願わられたいのちと知らされ、その温かなお慈悲に触れる時、大きな安心とともに生きていく力が与えられ、人と喜びや悲しみを分かち合い、お互いに敬うやまい支え合う世界が開かれてきます。如来のお慈悲に救われていく安心と喜びのうえから、仏恩報謝の道を歩まれたのが親鸞聖人でした。私たちが聖人の生き方に学び、次の世代の方々に「法義がわかりやすく伝わるよう、ここにその肝要を「浄土真宗のみ教え」として味わいたいと思います。」と、お示しく下さいました。

浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよそのまま救う」の弥陀のよび声

私の煩惱(ぼんのう)と仏のさとりは本来(ほんらい)一つゆえ

「そのまま救う」が弥陀のよび声

ありがとうといただいて

この愚身(み)をまかすこのままで

救い取られる自然(じやうぜん)の浄土

仏恩報謝(ぶつおんほうしゃ)のお念仏

み教えを依りどころに生きる者(もの)となり

少しずつ執(と)らわれの心を離(はな)れます

生かされていることに感謝(かんしゃ)して

むさぼりいかりに流(なが)されず

穏(おだ)やかな顔(かお)と優(やさ)しい言葉(ことば)

喜び(よろこ)も悲(かな)しみも分かち合(あ)い

### 大谷本廟への納骨について

- ・お亡くなりになられてから10年以内の方
- ・1周忌を済ませた方
- ・大谷本廟に納骨を済ませていない方

に毎年2月頃ご案内をしています。納骨を予定される方は、3月の最終土曜日を空けておいてくださいますようお願いいたします。

案内状が届いていない方も納骨することができますので、お寺までお問い合わせください。



### 大光寺文庫

大光寺では図書の出し入れをしています。専門的な教学の本から、お経や聖教の解説書、日常仏事のQ&A本、子ども用の絵本等を取り揃えています。貸し出し希望の方はお寺にお声がけください。



### 令和四年 年回忌表

回忌 逝去年

- 一周忌・・・令和三年
- 三回忌・・・令和二年
- 七回忌・・・平成二十八年
- 十三回忌・・・平成二十二年
- 十七回忌・・・平成十八年
- 二十三回忌・・・平成十二年
- 二十七回忌・・・平成八年
- 三十三回忌・・・平成二年
- 三十七回忌・・・昭和六十一年
- 五十回忌・・・昭和四十八年

※浄土真宗では二十五回忌をお勤めいたしますが、地域によっては二十三回忌・二十七回忌をお勤めすることがあります。高野口では後者の方が多いようですので、二十三・二十七回忌を記載しています。

# 永代納骨（合祀）墓があります



大光寺の境内地（敷地内）には永代納骨（合祀）墓あります。

近年増えてきた「墓じまい」後の御遺骨の埋葬や、新たにお墓を建立しないという方も埋葬できます。

申込書は大光寺のホームページからもダウンロードできます。

詳細はお寺までお問い合わせください。

◎納骨懇志（御布施）

- ・大光寺門徒 1体につき15万円以上
- ・大光寺門徒以外の方 1体につき20万円以上
- ・法名碑への刻印 2万円

# お寺の法要にお参りしましょう

お寺の法要へのお参りは浄土真宗門徒、大光寺にご縁のある全ての方々の大切な営みです。先人の言葉には「1日1度は家庭のお仏壇にお参りしましょう。月に1度は手次の寺にお参りしましょう。年に1度は本山本願寺にお参りしましょう。」とお勧めくださっています。

特に報恩講には必ずお参りしましょう。

## 令和4年 法要・行事予定

	大光寺	教楽寺
・1月1日 元旦会	午前10時	
・3月19日 春季彼岸会	午前10時	午後2時
・5月22日 降誕会	午前10時	午後2時
・8月12日 盂蘭盆会	午前10時	
・9月22日 秋季彼岸会	午前10時	午後2時
・10月20日 おみがき	午後2時	午前9時
・10月23日 報恩講	午前10時	午後2時

浄土真宗門徒としての基本的な、とても大切な事柄です

## 浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗（じょうどしんしゅう）  
 宗祖（ご開山） 親鸞聖人（しんらんしょうにん）  
 ご誕生 1173年5月21日（承安3年4月1日）  
 ご往生 1263年1月16日（弘長2年11月28日）  
 宗派 浄土真宗本願寺派（じょうどしんしゅう ほんがんじは）  
 本山 龍谷山 本願寺（西本願寺）  
 本尊 阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）  
 聖典

- ・ 釈迦如来が説かれた浄土三部経  
 『仏説無量寿経』 『仏説観無量寿経』 『仏説阿弥陀経』
- ・ 宗祖親鸞聖人が著述された主な聖教  
 『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文） 『浄土和讃』 『高僧和讃』  
 『正像末和讃』
- ・ 中興の祖蓮如上人のお手紙  
 『御文章』

教義 阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活 親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門 この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

浄書にチャレンジしませんか

### 経

典の浄書は、仏さまへの「願いごと」としての「写経」や「納経」とは異なり、自ら浄書・製本して、毎日の「おつとめ」に所持していただくことにより、お経が生きて働きます。

また、自らが書いたものを手に取って、自ら声に出してお勤めをすることは、お経に親しみ、聞法と合わせてより如来さまのお慈悲をいただく良き手助けとなるでしょう。

それは、私の生涯に失うことのない宝となり、子どもや孫に親の心を伝えることにもなるのではないのでしょうか。大光寺の本堂に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りいただき、どうぞ筆をとってみてください。

さい。書き終えたらお寺に持ってきてください。記念品を差し上げます。



# 西本願寺のページ

ここでは京都西本願寺のご案内をいたします。何かの折に京都へ行かれた際、出来れば本山本願寺を目的に、是非お立ち寄りいただきたいと思っております。本願寺では様々な取り組みを行っていますので、気軽に立ち寄っていただけます。

## お西さんの奉仕団 半日バージョン

### 念

仏奉仕団といふのが？本山本願寺（西本願寺）の清掃奉仕を通して、本願寺に親しみ、浄土真宗のお法を護り、後世に受け伝えていき、浄土真宗の門徒としての自覚と意識を高めることを目的として1泊2日の日程で行われています。



お西さんの奉仕団（半日バージョン）は、この念仏奉仕団の体験版。各回定員100名で開催されています。開催日の1カ月前までに事前の予約が必要です。毎日行っているわけではありませんので、開催日や時間、申し込みは西本願寺参拝教化部（075-371-5181）まで電話で問い合わせるか、本願寺HPまたは任職にお尋ねください。

## お西さんを知ろう！

### お

西さんを知ろう！おは、本願寺の僧侶（お西のお坊さん）がガイドとなって本願寺の境内を案内する本願寺ツアーです。

どなたでもご自由にご参加いただくことができます。

毎日9時30分～11時～13時45分～15時30分～の1日4回開催されています。

### 参

加をご希望の方は、開催時間までに本願寺境内「総合案内所（お茶所）」へお越しください。参加いただいた方は024（おにし）カードがいただけます。カードは全部で24種類、全て揃えるとかかイイモノが貰えるかもしれません。

## Shinran's Day

毎月16日は親鸞聖人の月命日。西本願寺ではこの日を機縁に多くの方に本願寺とご縁を結んでいただきたいとの願いから各種イベントを開催しています。本願寺へ行かれた際はぜひお立ち寄りください。

- ①法要（お勤め）  
親鸞聖人月忌法要10時～  
場所・・・御影堂
- ②法話（仏様のお話）  
10時35分～10時55分頃  
場所・・・御影堂
- ③国宝書院特別案内  
受付 16日9時～10時まで  
に龍虎殿で受付  
時間 11時（法話終了後～12時頃まで）  
対象 受付を済ませて法要に参拝した方
- ④京の文化体験  
予約・・・不要

- 時間 9時10分～9時45分  
場所・・・お茶所（総合案内所）  
※腕輪念珠作り・おい袋作りなどの文化体験
- ⑤参拝ツアー  
予約・・・必要  
場所  
日野誕生院  
【親鸞聖人御誕生の地】  
比叡山延暦寺  
【親鸞聖人ご往生の地】  
六角堂  
【親鸞聖人ご修行の地】  
親鸞聖人100日参籠の地 など
- ⑥いちろく市  
時間 9時～15時  
場所 門前町、御影堂門・阿弥陀堂門周辺  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容が変更・中止になる場合がありますので、本願寺ホームページでご確認いただくか、本願寺へお電話でお問い合わせください。



# 叙勲・褒賞

毎年、春・秋に国の「叙勲・褒賞」の発表があります。大光寺・教楽寺のご門徒の受賞者には、浄土真宗本願寺派より褒賞が授与されますので、住職までお知らせください。

# 本願寺参与

本願寺参与とは、本山本願寺の護持発展のため設置されたもので、浄土真宗本願寺派に所属する僧侶・門徒で法義篤信な方が就任されています。参与会員は会員が如来の教法を信じ、信仰を深めるとともに、会員相互の親睦をはかり、一致協力して本山本願寺の護持発展に努めることを目的として、本願寺住職（御門主）から委嘱されます。

本願寺参与に委嘱されると、次のような待遇があります。

## ①法要の案内・各種接待

(1) 毎年、御正忌報恩講に参拝後、鴻の間（国宝）で、御門主ご臨席のお斎接待に案内されます。

(2) 毎年、宗祖降誕会に参拝後、降誕会祝賀能及び茶席に招待されます。

(3) 年1回、本願寺住職ご臨席の園遊会に招待されます。

(4) 毎年、龍谷会（大本願報恩講）に参拝後開催の本願寺住職ご臨席の懇談会に招待されます。

## ②法要出勤

(1) 本願寺において修行される法要で縁儀又は庭儀が行われるとき、本願寺参与は出勤することができず。

(2) 通算出勤回数5回毎に、本願寺参与会代表より、感謝状及び記念品が授与されます。その他、色々な待遇が受けられますので、詳しくは住職までお尋ねください。

## ③参与講金・会費

	参与講金	参与会会費
新規就任年度	35万円以上	5万円
継承就任年度	15万円以上	5万円
終身参与就任年度	300万円以上	5万円
次年度以降（年間費）	15万円以上	5万円

# 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

二〇二三年（令和五）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたり、またその翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗の「立教開宗」から800年をお迎えする年となります。

『教行信証』は、私たち浄土真宗の門徒が日々「正信偈」をはじめとして浄土真宗成立の根本が親鸞聖人によって示された大切な書物です。

京都西本願寺では、二〇二三年（令和五）年三月から五月に、5期30日間、お慶讃たり、その慶讃

法要をお勤めいたします。親鸞聖人が浄土真宗の教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をともにお勤めさせていただきます。

二〇二三年（令和五）年

期	日	曜日
第1期	3月29日	（水）
第2期	4月3日	（月）
第3期	4月10日	（土）
第4期	4月15日	（土）
第5期	4月24日	（月）
第6期	4月29日	（土）
第7期	5月6日	（土）
第8期	5月11日	（木）
第9期	5月16日	（火）
第10期	5月21日	（日）

場所 西本願寺

時間 基本的には  
午前10時  
午後二時  
の一日二座  
・時間変更  
の日もある。





大光寺のホームページを開設しました。ご門徒様向けの情報を発信していきますので、どうぞご覧ください。



ホームページ開設!

<http://www.eonet.ne.jp/~daikouji/>

本堂

法事等で本堂を使用する場合、本堂使用冥加金として金10,000円のご進納をお願いしています。

護持費の納入をお願いします

毎年すべてのご門徒様に護持費(10,000円)の納入をお願いしています。お納めいただきました護持費は本堂をはじめとする諸堂宇の維持管理や、仏さまへの御仏飯・お花・お線香等のお供えに充てさせていただきます。何かと厳しい折大変恐縮ですが、未だ納めておられない方には早々にお納めくださいますようお願い申し上げます。

お願い

ご法事等、お参りのお電話をいただく際、日程に比較的余裕をもってご連絡くださいますようお願いいたします。少なくとも希望日の1カ月前を目途に、候補日を2つか3ついただくと大変助かります。職場での勤務調整をしなければいけませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

住職直通の携帯電話はコチラ⇒ 090-7488-5765

ご祥月法要のお参りについて  
 住職を継職してから、月忌参り(常速夜)を休止しております。  
 祥月命日(故人の正当のご命日)はお参りさせていただきますので、ご希望の方はお寺までご連絡ください。  
**大光寺 0736-42-3055**

